

「撮れる」、「読める」がより確実に！
医院全体の診断力を底上げする、「パノラマ本」の決定版がついに登場！

チェアサイドですぐ役立つ！ 撮影・読影テクニック

パノラマ診断 パーフェクトガイド

相宮秀俊・著

パノラマエックス線写真の撮影原理から、撮影のための正確な位置づけ、異常像の見分け方、さらに診断・治療計画・患者説明への活用までを体系的に解説した実践書！

デンタルやCBCTとの使い分け(補完)もていねいに整理され、初診からメンテナンスまで、一貫した診療の質を高めるための視点が身につきます。異常像と読影のポイントをまとめた特別付録も収録！ 診断力を高めたい歯科医療従事者に必携の1冊です！



豊富な図版とイラストで
もっとわかりやすく！



本書のココがポイント! ①
撮影から診断までを一貫して学べます！

パノラマを単なる検査画像ではなく、「撮影原理の理解 → 正確なポジショニング → 正常像の把握 → 異常の検出 → 次の検査・治療判断」という一連のプロセスとして体系化しています。そのため、「なぜこの像になるのか」、「なぜここが読めないのか」が理論と実践の両面から理解できます



本書のココがポイント! ②
検査・診断時の活用ポイントを網羅！

CHAPTER 4, 5では、パノラマを用いた1歯単位・歯列単位の診断のポイントを掲載。どこでデンタルやCBCTを用いれば漏れない診断をできるかについても詳細に解説しています。

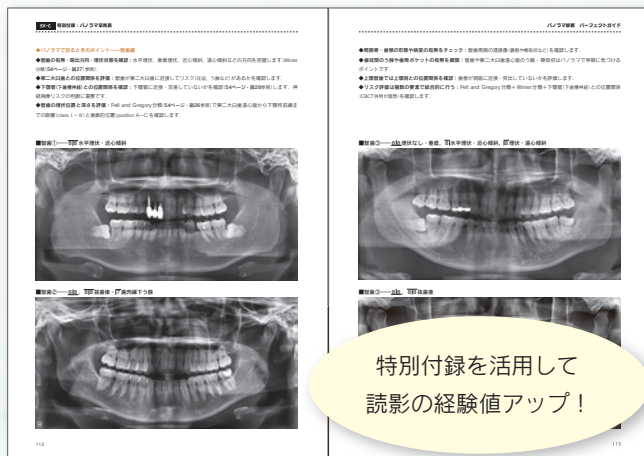
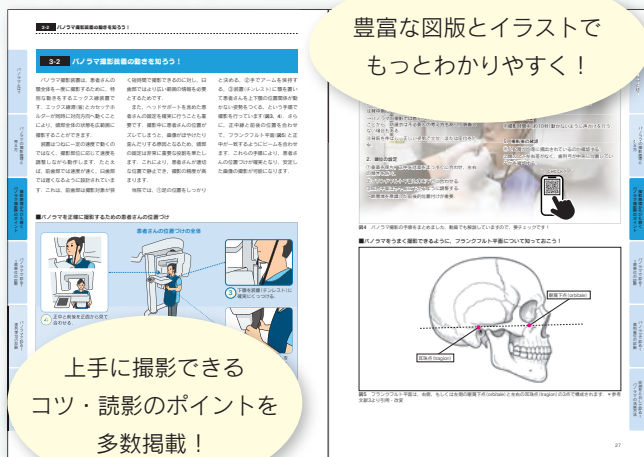
またCHAPTER 6では、症例をとおして初診時に診るべき部位や治療計画立案、患者説明までを見据えた活用法を掲載！



本書のココがポイント! ③
読影力がさらに鍛えられる特別付録！

本書では、正常像と解剖学的構造を整理し、そこから異常像を比較・検出するという王道の読影トレーニングを重視！

さらに、症例ベースのパノラマがCHAPTER 6とEX-CHAPTERに多数掲載されており、読影の「経験値」を誌面上で積み上げられる点が、類書にはない強みです。



CONTENTS

CHAPTER 1

パノラマとは？

CHAPTER 1では、歯科診療に欠かせないエックス線撮影法の基礎を整理しながら、パノラマの役割と有用性を詳しく解説！

パノラマを「すべての治療の交差点」と位置づけ、初診から治療計画、経過観察さらには患者説明や院内スタッフ間の情報共有に至るまで、診療のどの場面で有用かを紹介！パノラマを用いながらのコンサルテーションの実例など、院内の運用例を交え、診断力向上とチーム医療の質を高めるための実践的な指針を提示しています。

CHAPTER 3

撮影原理からひも解く パノラマ撮影時のポイント

CHAPTER 3では、パノラマ撮影の基本から臨床応用までを体系的に解説！正常像の理解を出発点に、患者さんの位置づけや撮影装置の動き、ジグの使用することの有効性や逆に使用しないほうが良い場面など、精度の高い画像を得るための具体的な方法を詳述しています。

さらに、前歯部や臼歯部での写り方の違い、正放線投影・偏心投影の原理、読影時の注意点にも触れ、診断精度を高める実践的知識を網羅しています。

CHAPTER 5

パノラマで診る！ 歯列単位の診断

CHAPTER 5では、パノラマを用いて骨格性不正咬合、叢生と空隙歯列、顎関節、骨粗鬆症（皮質骨）といった、歯列単位の診断ができるようになるための基礎と実践的ポイントを解説！パノラマから読み取ることができる骨格性不正咬合や叢生・空隙歯列の特徴、咬合診断のチェック項目、顔面タイプのスクリーニング方法とパノラマ・セファロの使い分け、顎関節の読み方と評価の限界など、日常臨床ですぐに役立つ視点が、豊富な図版とともに体系的に示されています。

CHAPTER 4と併せて読んで、パノラマを“全体像をつかむ診断ツール”として最大限活用しましょう！

CHAPTER 2

パノラマの撮影原理と見え方

CHAPTER 2では、パノラマの撮影原理とその見え方を基礎からわかりやすく解説！「パノラマ」とは何かという説明から始まり、その撮影の仕組みや装置の構造、断層域の特徴などを図や身近な例を交えていねいに説明。前歯部の撮影が難しい理由や、診断精度を高めるための工夫にも触れています。

パノラマの撮影を正しく理解し、臨床で活用するための実践的な知識が身につく内容となっています。

CHAPTER 4

パノラマで診る！ 1歯単位の診断

CHAPTER 4では、パノラマを用いてう蝕、歯周病、智歯、さらに日常臨床で遭遇する口腔外科疾患まで幅広く診断できるようになるための基礎と実践的ポイントを解説！パノラマの撮影原理や見え方を押さえたうえで、各疾患の読影のポイントを網羅し、パノラマを上手に活用するコツを、豊富な症例と図版を用いて整理しています。

また、デンタルやCBCTとの併用が必要となる場面も具体的に示し、含歯性嚢胞、鼻口蓋管嚢胞、唾石症など、口腔外科領域の異常所見を見逃さないための視点も盛りこみ、異常所見に対する診断精度向上につながる知識が身につきます。

CHAPTER 6

症例をとおして診る！ パノラマの活用方法

CHAPTER 6は、パノラマを軸に、補綴治療・矯正治療・根管治療・智歯抜歯など、幅広い臨床領域を症例ペースで「初診時にはまずどこを診るべきか？」「治療計画への活かし方は？」を体系的に学べる構成となっています。

初診から資料採得、診断、治療計画、実際の治療、治療後までの流れを、パノラマを中心に口腔内写真やデンタル、CBCTなど必要な資料を組み合わせで多角的に検討し、読影判断が治療戦略にどのようにつながるかを具体的に理解できる構成となっています。

きりとり線

注文書

チェアサイドですぐ役立つ！ 撮影・読影テクニック パノラマ診断 パーフェクトガイド

モリタ商品コード:208041068

冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	
		支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。